



鶴岡八幡宮

参拝のしおり

八幡宮

Tsurugaoka
Hachimangu



流鏝馬神事

由緒

康平6年(1063)源頼義が奥州を平定して鎌倉に帰り、材木座に源氏の氏神として八幡宮をお祀りしたのがはじまりです。

その後、源頼朝公が鎌倉に入るや直ちに現在の地に遷し祀り、建久2年(1191)には上下両宮の現在の姿に整えられました。鶴岡八幡宮は関東の守護、国家鎮護の神社となり、全国から崇敬を集め、各地に八幡宮(八幡神社)がお祀りされるようになりました。

現在の建物は、文政11年(1828)造営で流権現造りの代表的な江戸建築です。若宮(下宮)は、寛永元年(1624)に修復したもので、上宮とともに国の重要文化財に指定されています。

御本殿をはじめ、静御前が舞をおさめた若宮廻廊跡に建つ舞殿、そして源平池等、境内の様々な史跡が800年を越える長い歴史を語りかけてくれるかのようです。表参道である段葛、若宮大路から眺める八幡宮は、漆の朱と山の緑と空の青、更に遠近を考慮した色調と高低とを見事に演出させており、その美しさには驚嘆するばかりです。

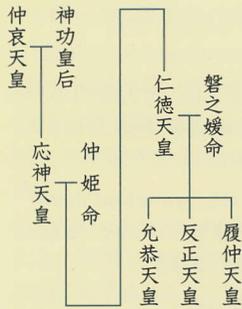


御鎮座記念祭(宮人の舞)

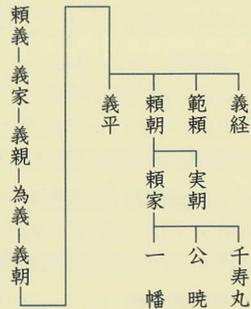
御祭神

おうじんてんのう ひめがみ じんぐうこうごう
応神天皇 比売神 神功皇后

御祭神略系図



源氏略系図



鶴岡八幡宮の御神宝〔国宝〕



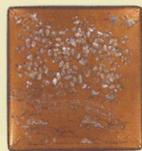
太刀 銘正恒



黒漆矢



袷 白小葵地鳳凰文二重織



籬菊螺鈿時絵硯箱

朱漆弓



鶴岡厄除大祭



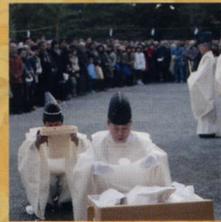
蛭放生祭



七夕祭



ぼんぼり祭



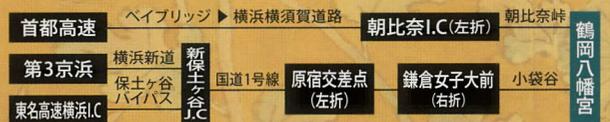
大祓(6月30日・12月31日)

年中主要祭祀

- 1月1日 歳旦祭
- 1月3日 元始祭
- 1月4日 手斧始式
- 1月5日 除魔神事
- 1月1日~7日 御判行事
- 1月成人の日 成人祭
- 1月15日 左義長神事
- 1月下旬 鶴岡厄除大祭
- 2月3日 節分祭
- 2月初午の日 丸山稻荷社初午祭
- 2月11日 紀元祭
- 2月17日 祈年祭
- 春分の日 祖霊社春季例祭
- 3月下旬 献詠披講式
- 4月初巳の日 旗上弁財天社例祭
- 4月3日 若宮例祭
- 4月29日 昭和祭
- 5月5日 菖蒲祭
- 6月上旬 蛭放生祭
- 6月上旬 御日供献饌講講社祭
- 6月30日 大祓
- 6月30日 古神札焼納祭
- 7月7日 七夕祭
- 立秋の前日 夏越祭
- 立秋の日 立秋祭
- 8月9日 白旗神社実朝祭
- 9月14日 宵宮祭
- 9月15日 例大祭・神幸祭
- 9月16日 流鏝馬神事
- 9月16日 鈴虫放生祭
- 秋分の日 祖霊社秋季例祭
- 10月初旬 崇敬者大祭
- 10月17日 神嘗奉祝祭
- 10月20日 地久祭
- 11月3日 明治祭
- 11月8日 丸山稻荷社火焚祭
- 11月15日 七五三祈請祭
- 11月23日 新嘗祭
- 12月16日 御鎮座記念祭・御神楽
- 12月23日 天長祭
- 12月31日 大祓
- 12月31日 古神札焼納祭
- 12月31日 除夜祭

ぼんぼり祭 例大祭

- 鉄道 JR横須賀線・JR湘南新宿ライン・江ノ電 鎌倉駅下車 徒歩10分
- アクセス



鶴岡八幡宮社務所

〒248-8588 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-31
 TEL. 0467(22)0315(代) FAX. 0467(22)4667
 URL▶ www.hachimangu.or.jp E-mail▶ mail@hachimangu.or.jp

① 段葛 (Dankazura Approachway)

政子の安産を祈願して造られた参道で、若宮大路の中心部となります。春には桜、つつじが満開になり、花のトンネルができます。

② 神苑ぼたん庭園 (Shin-en [Peony Garden])

正月ぼたん、春ぼたんが咲きほこり、花の季節には大勢の参拝者でにぎわいます。

③ 源平池 (Genpei Ponds)

東の池(源氏池)には島が三つ、西の池(平家池)には島が四つあり、それぞれの島の数が源氏の繁栄(三=産)と平家の滅亡(四=死)をあらわしていると云われています。夏には紅白の蓮の花が見事に咲きます。

④ 旗上弁財天社 (Hataage Benzaiten Shrine)

源氏池の島内にあり、頼朝公の旗上げにちなみ、源氏の二引きの旗に願をかける御祈禱をお受けします。

⑤ 政子石 (Masako Stone)

良縁・夫婦円満の祈願石で姫石ともいいます。

⑥ 流鏝馬馬場 (Yabusame Horse Track)

例大祭期間中の9月16日に流鏝馬神事が執り行われます。

⑦ 齋館 (Saikan [Guest House])

大きな祭典に奉仕する献幣使をお迎えしたり、神職がお籠りをするところです。

⑧ 手水舎 (Temizuya [Purification Font])

参拝の前に手や口を清めるところです。

⑨ 社務所 (Shrine Office)

社社の事務や祭典の準備等をするところです。

⑩ 直会殿 (Naoraiden [Reception Hall])

祭典後に参列者の直会や諸行事を行う施設です。

⑪ 舞殿 [下拝殿] (Maiden [Lower Worship Hall])

静御前が義経を慕い、舞を舞ったところに建ち、下拝殿とも称し、神事・結婚式等を行います。

⑫ 若宮 [下宮] (国重要文化財) (Wakamiya [Secondary Shrine])

仁徳天皇、履仲天皇、仲姫命、磐之媛命をお祀りしています。

⑬ 柏楨 (Byakushin [Juniper])

実朝公お手植えの木で、種苗は宋より取り寄せたと云われています。

⑭ 由比若宮遙拝所 (Yuiwakamiya Worship Site)

八幡宮の元宮である由比若宮(鎌倉市材木座に鎮座)を遥拝するところです。

⑮ 鶴亀石 (Tsurukame Stone)

水で洗えば鶴亀のような輝きを出すと伝えられる名石です。

⑯ 白旗神社 (Shirahata Shrine)

頼朝公、実朝公をお祀りし、黒塗りの社殿が印象的です。御祭神の御威徳にあやかり必勝や学業成就の信仰の篤い神社です。

⑰ 鶴岡研修道場 (Tsurugaoka Training Hall)

八幡大神様御照覧のもと、武道(剣道、柔道、合気道、弓道)錬成、各種研修の場として開設されています。

⑱ 「親」銀杏(大銀杏)と「子」銀杏

(The Great Ginkgo's stump and its sapling)

樹齢1000年を数える大銀杏は平成22年3月に強風の為倒伏しましたが、その後根元からヒコバエを確認。現在も順調に成長しています。(写真は平成22年7月のもの)

⑲ 大石段 (Stone Stairs)

石段をのぼると本宮(上宮)。ここからは、鎌倉の街を一望できます。

⑳ 本宮 [上宮] (国重要文化財) (Hongu [Main Shrine])

由緒を参照ください。

㉑ 祈禱受付 (Reception Desk)

御祈禱(お祓い)の申し込みをするところです。

㉒ 宝物殿 (Shrine Museum)

八幡宮の神宝類(神輿、武具、工芸品、考古資料等)を陳列しています。毎年正月には特別展を開催しています。(拝観料:大人200円・小人100円)

㉓ 丸山稲荷社 (国重要文化財) (Maruyama Inari Shrine)

八幡宮では一番古い室町期の建物です。11月8日の火焚祭では、鎌倉神楽が奉奏されます。

㉔ 車お祓い所 (Purification For Vehicles)

新車等の交通安全のお祓いをするところです。車をこちらに入れ、祈禱受付にてお申し込みください。

㉕ 古神札納所 (Place For Old Amulets)

古くなったお札・お守り等をお返しするところです。

㉖ 祖霊社 (Soreisha [Ancestral Shrine])

神社神道により各家の祖先のみたまが祀られています。

㉗ 今宮 [新宮] (Imamiya Shrine)

後鳥羽天皇、土御門天皇、順徳天皇をお祀りしています。

㉘ 武内社 (国重要文化財) (Takeuchi Shrine)

武内宿祢命をお祀りし、延命長寿の御利益があると云われています。

㉙ 参拝者駐車場 (Parking)

参拝者専用の駐車場です。御祈禱をお受けの方は2時間まで無料となります。

㉚ 鶴岡文庫 (Tsurugaoka Library)

八幡宮をはじめ、鎌倉に関する資料が集められています。

㉛ 柳原休憩所 ㉜ 御谷休憩所 ㉝ 源氏池休憩所 (Rest House)

ご自由にお休みください。甘酒、コーヒーなどもご用意しています。

㉞ 柳原神池 (Yanagihara Pond)

6月には蛍が舞い、例大祭期間中の9月16日には鈴虫が放生されます。

㉟ 喫茶 風の杜 (Coffee Lounge "Kaze-no-mori")

参拝者のための喫茶店です。池を見ながらおくつろぎください。



10 本宮 [上宮]



11 舞殿 [下拝殿]



12 若宮 [下宮]



16 白旗神社



18 「親」銀杏(大銀杏)と「子」銀杏



3 丸山稲荷社



4 車お祝い所



6 祖霊社



3 喫茶風の社



3 源平池 [春-桜]

